

講義コード	1001	科目区分	専門教育科目(社会福祉士関連科目)
(フリガナ)	ジドウフクシロン	(フリガナ)	ウメキ モトシ
授業科目名	児童福祉論	担当教員名	梅木 幹司
英文授業科目名	Child welfare and Family services		
基準年次(開講期)	1年次(前期)	履修形態	選択(社会福祉士受験資格取得必修科目・保育士資格取得必修科目)
曜日/時限/講義室	月曜日/1時限		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	子どもの権利、子育て支援、児童福祉六法、ネットワーキング、少子化対策		
授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における子どもやその家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢について講義する。</li> <li>・子どもや家庭に対する支援に関わる専門職として、政策や制度、社会資源などについての必要な知識を得ることを目的とする。</li> </ul>		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの定義や権利について理解する。</li> <li>・子どもや家庭を支援する法律や制度、政策について理解する。</li> <li>・子どもや家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢について理解する。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	オリエンテーション ～子ども・家庭福祉とは、子どもの定義～		
第2回	子どもの権利について		
第3回	子ども・家庭福祉制度の発展過程		
第4回	子ども・家庭の生活実態① ～少子化の進行とそれに関連する社会問題～		
第5回	子ども・家庭の生活実態② ～子ども・家庭の福祉ニーズについて～		
第6回	児童福祉六法① 児童福祉法の理念と概要について		
第7回	児童福祉六法② 児童手当法、児童扶養手当法、特別児童扶養手当等の支給に関する法律		
第8回	児童福祉六法③ 母子及び父子並びに寡婦福祉法、母子保健法		
第9回	子ども・家庭福祉関係法規①		
第10回	子ども・家庭福祉関係法規②		
第11回	子ども・家庭福祉制度における組織・団体の役割と実際について		
第12回	子ども・家庭福祉制度における専門職の役割と実際について		
第13回	子ども・家庭福祉制度における多職種連携とネットワーキングと実際について		
第14回	児童虐待の実際と児童相談所の役割について		
第15回	社会的養護および全体のまとめ		
教科書・参考書等	教科書:新・社会福祉士養成講座15「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」(第6版)中央法規出版 参考図書等については、授業内で紹介する。		
授業で使用する 機器等	毎回講義資料を配付。 DVDによる視聴も行う。		
予習・復習への アドバイス	教科書において予習をしておくこと。また、各回の講義の前に小テストを実施するので、前回講義内容の復習を必ずする		
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験資格取得および保育士資格取得を希望する人は必ず履修してください。		
成績評価の基準等	小テスト30% 定期試験70%		
メッセージ	社会福祉士試験の受験は4年生が終わるころですが、1年生からの勉強の積み重ねが大切です。4年後に笑顔で終わられるように主体性をもって授業に参画してください。授業中、他者の迷惑になる行為は認めません。これらを了承した上		
オフィス・アワー	発表掲示後は、気軽に訪問してください。		
その他			